

2021年教育カウンセリング・オンライン公開講演会 参加者感想アンケートまとめ

秋田県教育カウンセラー協会

2021年7月10日（土） 13:30～15:30

公開講演会テーマ

「with / after コロナ時代におけるメンタルヘルスとレジリエンス」

講師：足立 匡基先生

（弘前大学医学部心理支援科学科／大学院保健学研究科 准教授）

① 講演会全般について（回答数9名分）

大変満足（100%）

満足（0%）

やや不満（0%）

不満（0%）

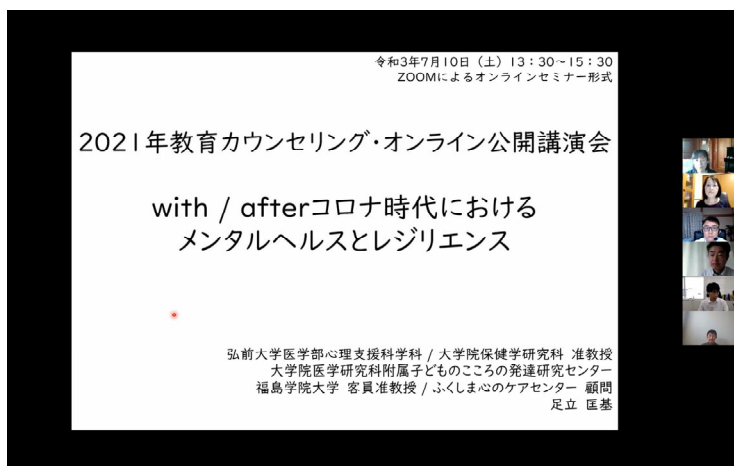
② 講演会の内容について（回答数9名分）

大変役に立った（100%）

役に立った（0%）

あまり役に立たなかった（0%）

役に立たなかった（0%）



③ 講演会の内容についての感想

✂ scについて、とても興味をもちました。実感し職場が助け合う雰囲気であることの大切さ、先生方も支援が必要としているのかもしれないと感じます。学校という場が安心できる場、心が落ちつく場であれば、子ども達ももっとメンタルヘルスを保てるのではないかなと。

本当にありがとうございました。

✂ 地域、社会全体で児童生徒の支援をしていくことが、児童生徒のレジリエンスを伸ばし、逆境にも立ち向かっていけるのだと思いました。私が驚いたのは、コロナ前とコロナ後の抑うつ症状がほぼ変わっていなかったという点です。これも児童生徒にどう関わっていくかが、メンタルヘルスを守るために重要なポイントなのですね。

✂ 心に問題を抱えている児童生徒達と関わる日々、その対応や接し方に悩むことがあります。そのような中、足立先生のご講演を拝聴し、思春期の脳の構造やアンケートを通じた研究結果を知ることができたお陰で生徒に対しての理解を深めることができました。望ましいソーシャルキャピタルづくり、児童生徒のレジリエンスの育成の大切さも学ばせていただきました。

今、児童生徒と向き合っている多くの現職教師に聞いていただきたい内容でした。興味深い内容であつという間に感じた時間でした。参加して良かったです。本当にありがとうございました。

✂ 思春期のお子さんの問題行動の意味を、足立先生の実践とエビデンスに基づきながらも、たいへん分かりやすいお話でした。特にアクセルとブレーキ、ソーシャル・キャピタルについてのお話が印象に残りました。

✂ 発達障害やコロナ禍での子どもたちの状態についての興味深い内容でした。ソーシャルキャピタルという意識や子どもを取り巻く人間環境が(もちろん生活環境もですが)子どもの精神状態に関係するのだと改めて認識しました。現場にいたときずっと根底にあった「人間形成の基本は学級経営」がその通りでした。ただ、それは学担一人が担うものではなく、学校全体、地域全体さらには社会全体で・・・となるべきものだと思います。教育という現場にはちょっと関わりが薄くなったかと感じていましたが、まずは身近にいる、ある関係を見ていきたいなと思います。

✂ データに基づいたご講義は、大変充実した学びであり、さまざまな示唆を与えていただいた時間となりました。足立先生、ありがとうございました。

ソーシャルキャピタルがうまく機能していくためには、さまざまな問題を抱える子どもたちにかかわる園・学校・家庭・地域の大人たちのこれまでの経験プラス“cool head”(冷静な思考、一歩引いた客観的な判断)と“warm heart”(温かい心、まなざし、表情、言動)の塩梅、さじ加減が大事だと感じました。

さじ加減がうまく行えるようになるには、やはり研修などの積み重ねが大切といえるかもしれません。“cool head”を鍛え、今を生きる子どもたちの理解を深め、さまざまな視点から捉えるように意識することで、感受性や想像力の豊かさにつながっていくように思います。

✂ 盛りだくさんで新鮮な話が多く、非常にわかりやすかった。発達障害と似ているように見えても違っていることもあるということも、自傷は外から予見しにくいということも、初めて聞く話題だが、納得だった。発達障害の有無どちらにしても、教育虐待や過干渉など親の関わりが気になるタイミングで参加したが、ソーシャルキャピタルによって緩和されたり救いになったりする可能性があることを知り、勇気づけられた。安心して過ごせるクラスだから意欲も高まり、学習効果も上がる。家庭や友人関係が十分うまくいっていても不安定になりうる思春期だからこそ、長く過ごす場の安心感は大きいかもしれない。高校であれば途中の進路変更や卒業後の進路希望も含めて多様な選択が肯定される雰囲気、当該生徒だけでなく、多数派に入る生徒にとっても安心感を与えると実感している。教員同士が助け合う雰囲気があれば自然と子どもたちも、というのは全く同感だが、実際はそこが一番難しい。職員室の雰囲気は、校長次第、となるかもしれない。コロナ後のデータについては、思い込んだり決めつけたりしてはいけないとわかった。コロナ前を長く生きていない子どもほど順応できるということ、納得。友人関係の時間が減った一方、数少ない行事や友人との触れ合いを楽しもうとする生徒が増えたかもしれない。

✂ 新しい視点がぐんぐん広がっていく、そんな楽しさが詰まっていた2時間でした！

足立先生のご講演をうかがうご縁をいただいたことが、本当に嬉しいです。

弘前市内の学校との連携に、足立先生の研究成果がしっかりと生かされている点にも非常に魅力を感じました。多くの教師や子どもたちが、心身ともに健康な日々を積み重ねていくためのヒントがたっぷりとあり、なんてすてきな！と一人でワクワクしていたところです。

秋田県教育カウンセラー協会のスローガンは、「おもしろくてためになる学びの共有」です。足立先生からいただいた2時間は、まさにこのスローガンの体験となりました。

足立先生、いつの日かぜひ対面でのご講演にもいらしてください！心よりお待ちしております。

- ✂ 足立先生，今回秋田県カウンセラー協会でご講演いただきありがとうございました。
退職から5年。「子どもたちとコロナ時代・・・」と言われても・・・と最初思いました。
しかし資料を読ませていただき，膨大な調査と分析，医学的視野もベースに，コロナ前
も今も日本の子どもたちが抱えてきた大問題についてお話し下さるんだと感じました。
真向切り込んでいるその研究の道筋の力強さにググッと吸い寄せられるように参加しま
した。そして学級経営の在り方に至り，，。時間を忘れて拝聴させていただきました。
本当にありがとうございました。

④ オンライン開催に関するご意見やご要望について

- ✂ 秋田県外の全国の方とつながれるのは，オンラインならではのよさだと思います。
- ✂ 遠方に住んでいて，秋田市での開催ですと参加できませんでした。気軽に参加できる
オンライン講座でありがたかったです。
- ✂ オンラインはとても便利なのですが，使い慣れないためご迷惑をおかけしました。で
も，参加させてもらい，充実した時間でした。ありがとうございます。
- ✂ オンラインでの研修には苦手意識がありますが，何度か重ねるうちに自分なりに慣れ
てきたような気がします。できれば対面での研修がしたいですが，この状況下で研修で
きることがありがたいです。コロナ感染が収束することを願いつつ，新しい研修の形に
ももっと慣れていきたいです。
- ✂ 大変素晴らしい企画を考えてくださり，ありがとうございました。
- ✂ スムーズな進行でよかったです。
- ✂ 質問のタイミングについて，質問がありましたが，全国大会でもチャットを開放する
か，質問を随時受け付けるかなど，確認しておいた方がよいかもしれません。
- ✂ 阿部さん、みなさん。お疲れ様でした！オンラインでもすてきな学びを共有できてあ
りがたかったです。

⑤ 今後受講したい講座のテーマや講師について

- ✂ 人間関係構築によるメンタルヘルスの回避に関する講演会を希望いたします。
- ✂ レジリエンス，認知行動療法，コーチング，愛着障害と発達障害の違い，マインドフ
ルネスなどです。
- ✂ 毎回，大満足の研修機会をありがとうございます。①ホワイトボード教育相談も気にな
りますが，やはり④今日の足立先生のお話を聞いても，愛着障害への理解と対応に向
けた力を付けていきたいと思いました。
- ✂ 比べることと承認欲求（成績，学校側，保護者側）上昇志向があるのは親年代だけで，
若者，子どもは足るを知る価値観で生きているように見えるので，そのギャップをどう
するかということが気になっています。ジェンダーや労働観など価値観のギャップも。
子どもではなくて大人が問題ということをすごく感じていますが，そのギャップを詰め
られるようなヒントがほしいです。漠然としてすみません。

秋田県教育カウンセラー協会の事業のご案内

◆2021年教育カウンセリング・オンライン研修会

令和3年9月11日(土) 13:30～15:30

「構成的グループエンカウンター体験
ー温かな人間関係とコミュニケーションー」

藤川 章先生

(文教大学 非常勤講師, 日本スクールカウンセリング推進協議会 理事)



第18回日本教育カウンセリング学会 研究発表大会(秋田大会)

第1日目 11月20日(土)

10:00～10:10 開会式／表彰式

10:10～12:40 公開シンポジウム「真の学力の形成を支援する」

統括討論者: 河村 茂雄先生(早稲田大学教育・総合科学学術院 教授)

コーディネーター: 苅間澤 勇人先生(会津大学 文化研究センター 教授)

話題提供者: 瀬尾 知子先生(秋田大学教育文化学部 准教授)

奈良 恵子先生(秋田市立秋田北中学校 校長)

佐藤さゆ里先生(横手市不登校適応指導「南かがやき教室」教育相談員)

13:30～17:00 口頭研究発表

第2日目 11月21日(日)

10:00～11:40 記念講演「子どもの学ぶ力をどう高めるか
ー授業方法と授業方略の視点からー」

講師: 市川 伸一先生

(帝京平成大学 特任教授, 東京大学 名誉教授)

12:30～14:30 自主シンポジウム

日本教育カウンセリング学会ホームページ: <http://jsec.gr.jp/index.php?FrontPage>

「参加申込・発表申込フォーム」 https://amarys-jtb.jp/counseling_th18akita/

※1次案内は、申込フォームの「ご案内」にある「募集要項」
からダウンロードできます。

